

第1.0 版 (2026 年 7 月 27 日作成)

国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部にて

筋病理診断を受けられて

自己免疫性筋炎と診断された方へ

このたび、国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部にて、診断的検査で使用された凍結骨格筋と血漿の一部について、下記の研究のために使用いたします。この研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意をいただくかわりに、使用目的等を含む研究の実施について、情報を公開いたします。

この研究で試料・情報を使用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の試料・情報を使用して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供してほしくないと申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはございません。

1. 対象となる方

2022 年 1 月 1 日より2024 年 12 月 31 日までの間に、国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部にて筋病理診断を受け、自己免疫性筋炎（皮膚筋炎、抗合成酵素症候群、免疫介在性壊死性ミオパチー）と診断された方

2. 試料・情報の提供のみを行う者の機関名・所属・氏名

機関名：国立精神・神経医療研究センター 神経研究所

所属・氏名：疾病研究第一部・西野一三

3. 試料・情報を提供する研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名：炎症性筋疾患の筋組織を用いた病態解析

研究期間：研究実施許可受領後～2028 年 3 月 31 日まで

研究代表者(研究責任者)：国立精神・神経医療研究センター神経研究所 疾病研究第一部 西野一三
(共同研究機関)

旭化成セラピューティクス株式会社 医薬研究センター 研究責任者 田中智哉

4. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

試料：残余凍結骨格筋、血漿

(取得方法) 診療の一環で採取

情報等：臨床経過、年齢、性別、遺伝子変異情報、自己抗体情報、病情報

（取得方法）過去の解析結果、または診療録から入手

5. 試料・情報の利用目的及び利用方法

【目的】炎症性筋疾患は骨格筋を中心に多臓器に病変を来す自己免疫疾患群で、既存の免疫抑制療法における再燃や副作用、筋力低下の残存が臨床上の課題です。本研究は新規薬剤開発のための探索的研究として、患者由来の病変筋組織を用い、微小環境における細胞プロファイルや炎症性サイトカイン等の発現を評価・検討し、さらなる病態解明を目指します。

【取り扱い】提供を行う際には、研究計画に従い、診療情報等の個人情報は加工処理を行った上で、対象となる方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱います。

6. 利用又は提供を開始する予定日

研究開始日を予定しています。

7. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名：国立精神・神経医療研究センター神経研究所

所属：疾病研究第一部 氏名 西野 一三

電話番号：042-341-2711

e-mail：mbx※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）